

Leader



2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料 リーダー電子（6867）

2024年2月8日

<https://www.leader.co.jp/>

2024年3月期 第3四半期 決算



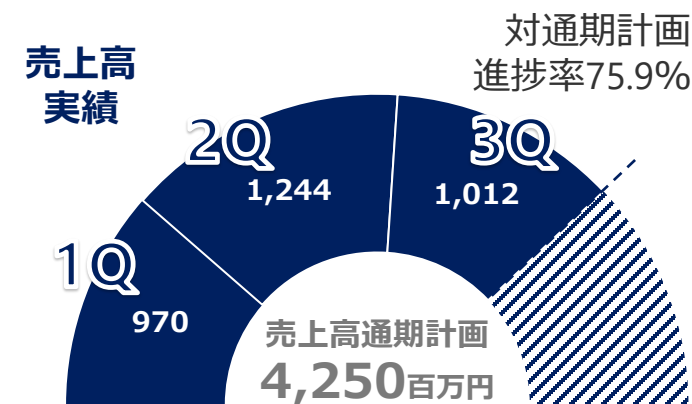
<https://www.leader.co.jp/>

業績：北米堅調。来期以降を見据え、欧州、インド・中東の営業を強化。

■ 売上高：3,227百万円（前期比+20.1%），経常利益166百万円

中国	厳しい状況が継続。本格回復には程遠い状況。
北米	堅調。低調気味だったOTT市場も復調傾向。当社シェアは着実に拡大。おもてなし営業を更に強化。
欧州	低調ながらも徐々に復調の兆し。4Q以降に期待感。
インド・中東	大型案件受注。巨大なマーケットとして有望なため、シェア拡大を優先する戦略で営業強化。
日本	前期から引き続き設備投資意欲低調。当面回復の気配無し。

サプライチェーン正常化もあり、業績計画に対し想定通りの進捗。



■ 財務：自己資本比率 **77.4%** と盤石の財務基盤維持（前期末比+2.4pt）

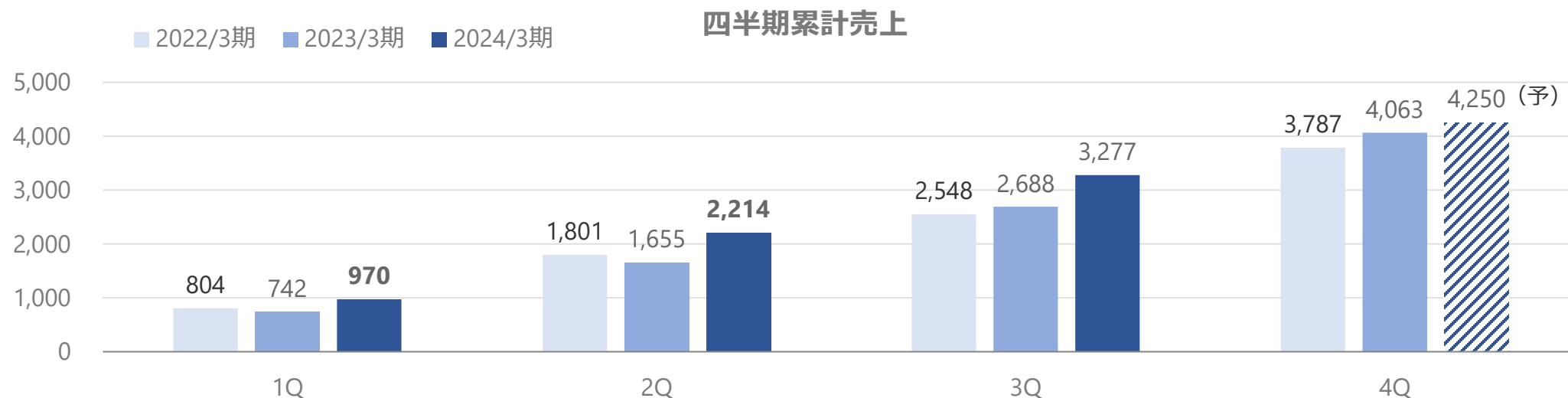
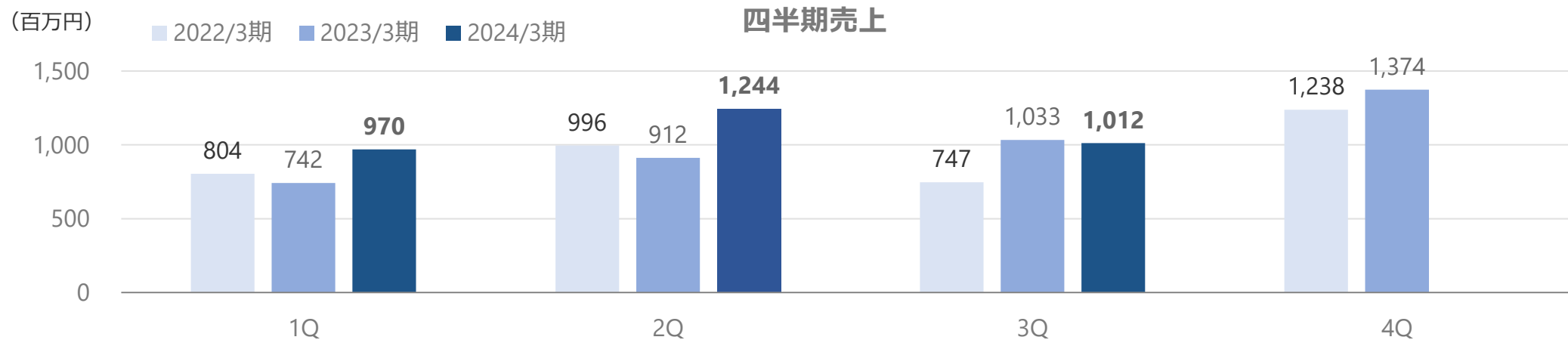
2024年3月期 第3四半期 決算概要

北米では上期低調だったOTT市場も復調傾向にあり、引き続きIP化への投資への需要堅調。市場での評価が高まり北米でのシェアは順調に拡大中。為替差益63百万円計上。

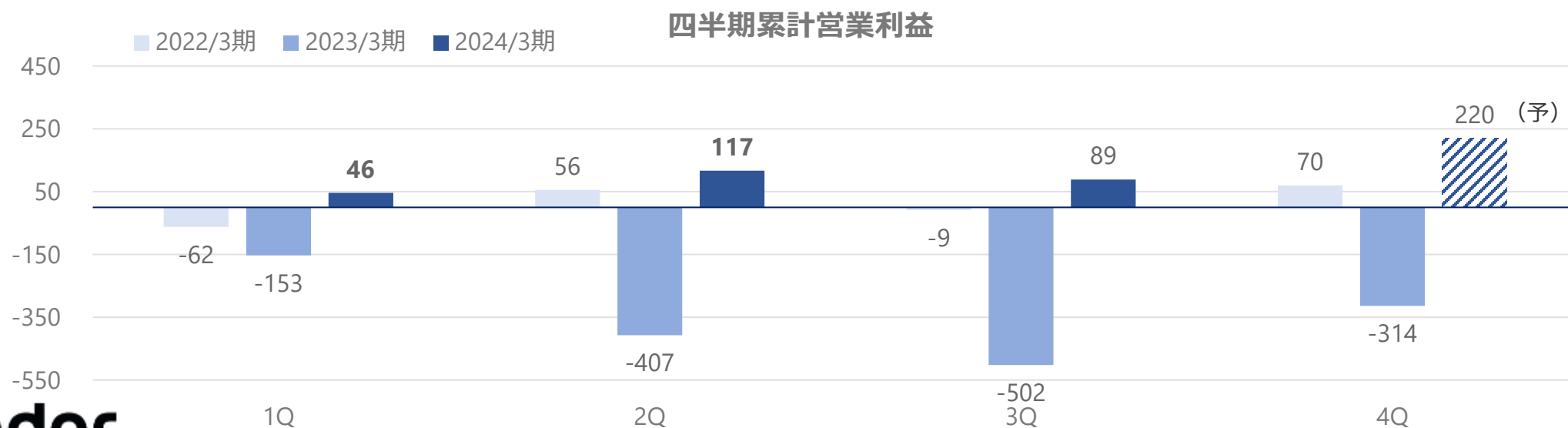
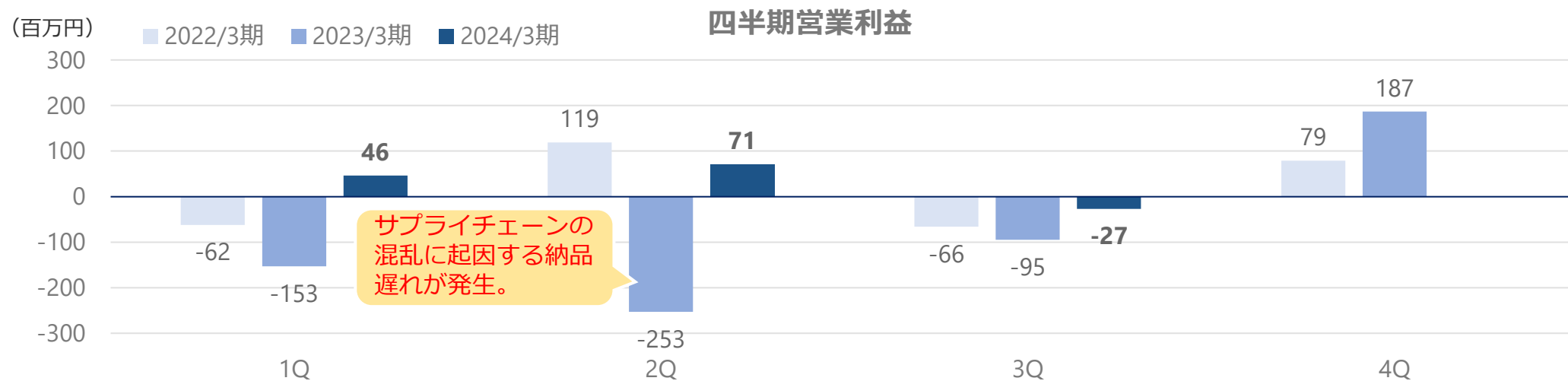
(単位：百万円)	2023年3月期 3Q 実績	構成 %	2024年3月期 3Q 実績	構成 %	前年同期比 %
売上高	2,688	100%	3,227	100%	+20.1%
売上総利益	1,660	61.8%	2,119	65.7%	+27.6%
販売費及び一般管理費	2,162	80.5%	2,029	62.9%	△6.2%
営業利益	△502	—	89	2.8	—
経常利益	△399	—	166	5.2	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△401	—	48	1.5	—

為替差益：
63百万円

四半期業績推移（売上高）

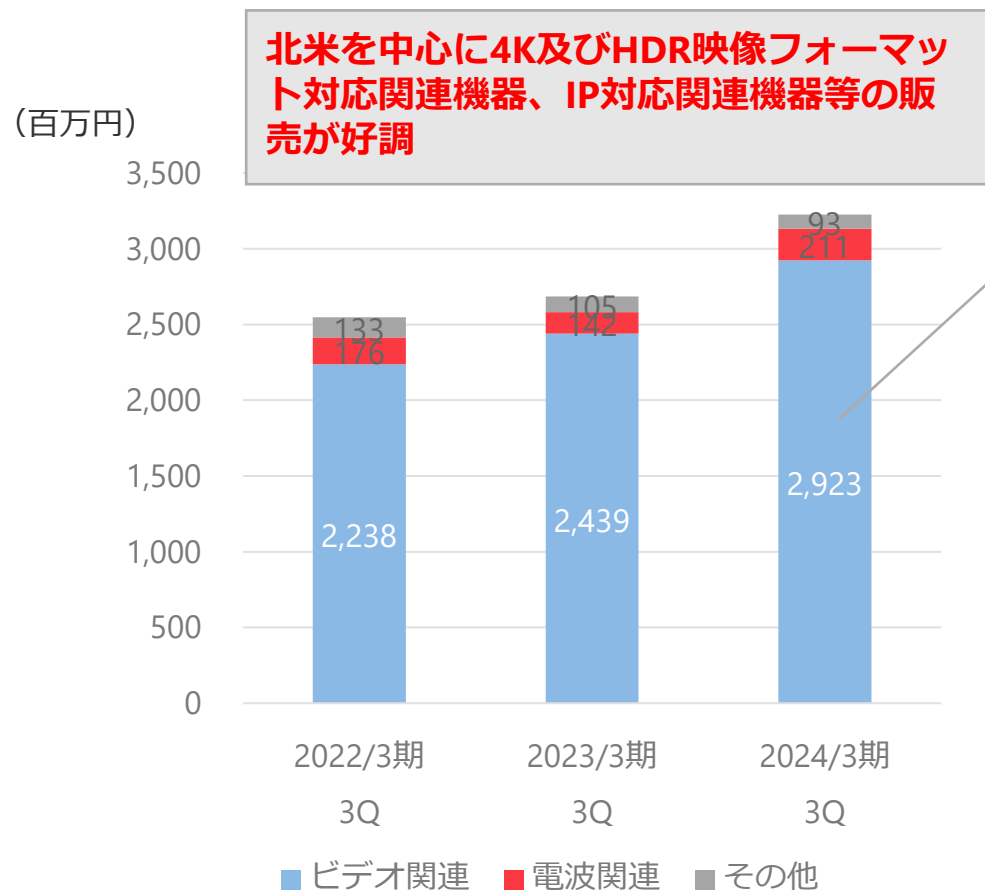


四半期業績推移（営業利益）

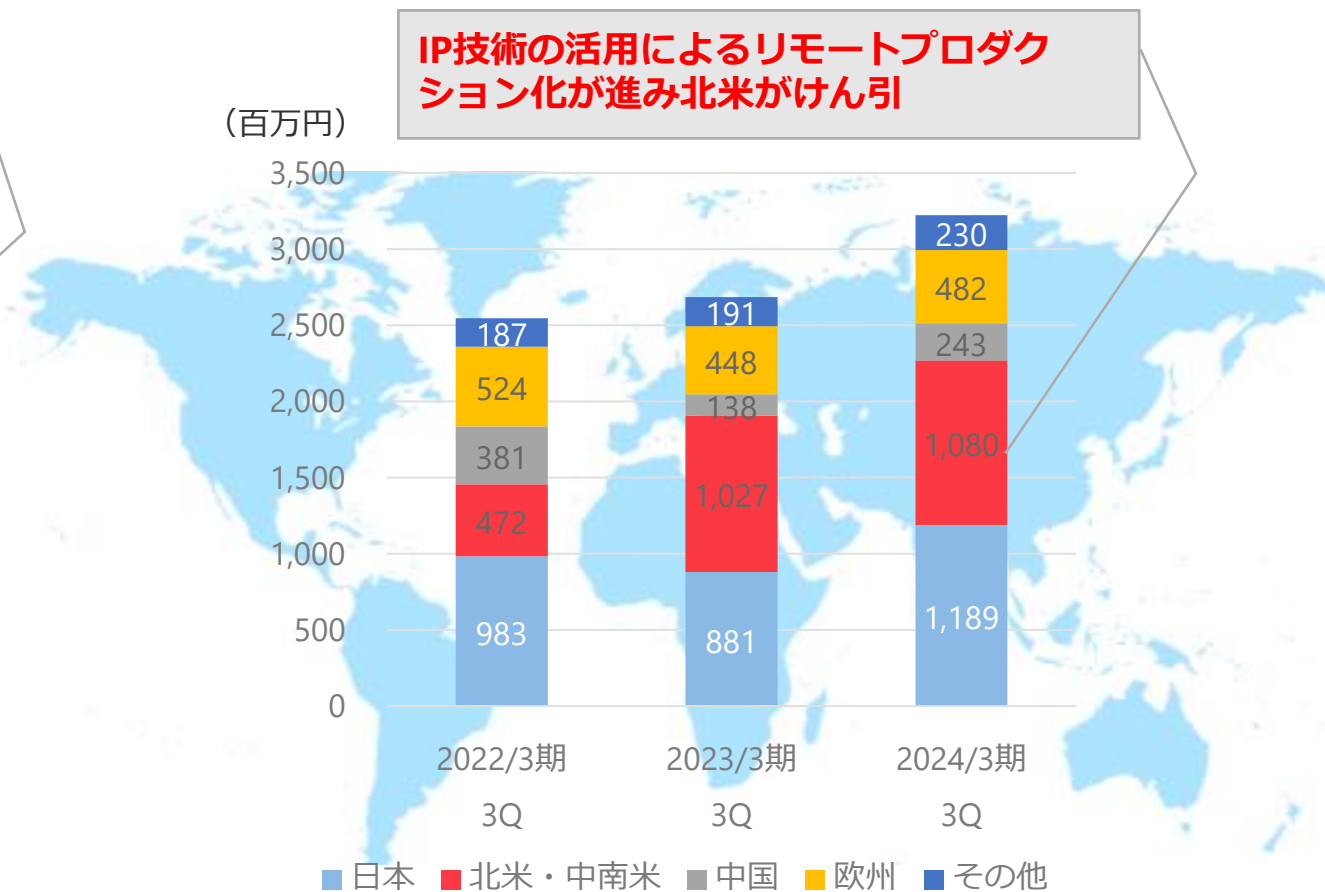


セグメント情報

■ 商品別売上高



■ 地域別売上高



単位:百万円	23年3月末	23年12月末
流動資産	4,418	4,071
現預金	2,428	2,289
受取手形、売掛金及び契約資産	1,235	757
商品及び製品	351	461
その他	404	562
固定資産	991	1,224
有形固定資産	503	487
無形固定資産	39	28
投資その他の資産	448	708
総資産	5,409	5,295
流動負債	840	674
買掛金	246	94
未払金	301	213
その他	589	366
固定負債	492	501
退職金に係る負債	344	355
その他	147	145
純資産	4,076	4,119
株主資本合計	4,138	4,147
その他包括利益累計等	▲61	▲27
負債純資産合計	5,409	5,295

資本コストをより意識した経営を重要な経営課題と認識

既存事業（バリュービジネス）でのシェア向上と新規事業（グロースビジネス）の収益化という自社経営資源による成長及びM&A等を通じた外部資源を活用した成長によりROEを改善することを目指す一方、自己株取得等の施策を通じて資本コストを低減することにより、企業価値を向上し、資本コストを安定的に上回るROEの達成を目指す。

主な増減要因

- 受取手形、売掛金及び契約資産：△477百万円
- 買掛金：△152百万円
- 投資その他の資産：+259百万円

自己資本比率77.4%（前期末比+2.4pt）

2024年3月期 通期計画



<https://www.leader.co.jp/>

2024年3月期通期業績計画・4Qの取り組み

- 北米におけるIP技術を使ったリモートプロダクション化の流れは想定以上の速さ。動画の大量生産時代に対応するべく積極的な開発投資を継続。
- 北米では上期に低調だったOTT向けが徐々に回復、欧州にも復調の兆しが見られ、市場の拡大が期待されるインド・中東を含め海外における営業体制の強化を図る。
- SFR-fit拡販体制確立。

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	構成 %	2024年3月期 11/9修正計画	構成 %	前年同期比 %	2024年3月期 期初計画	構成 %
売上高	4,063	100%	4,250	100%	+4.6%	4,250	100%
営業利益	△314	△7.7%	220	5.2%	—	220	5.2%
経常利益	△214	△5.2%	270	6.4%	—	220	5.2%
親会社株主に 帰属する 当期期純利益	△644	△15.8 %	170	4.0%	—	120	2.8%

外貨建て債権の一部に対して為替予約を実施したことにより確定した為替差益を考慮

【戦略製品】

Leader

GLADIAS Cloud

➤ 今期、来期はマーケティング注力。機能開発は継続、常に進化！

主要クライアントとのハンズオンによる開発プロジェクト実施中



コンテンツチェッカー

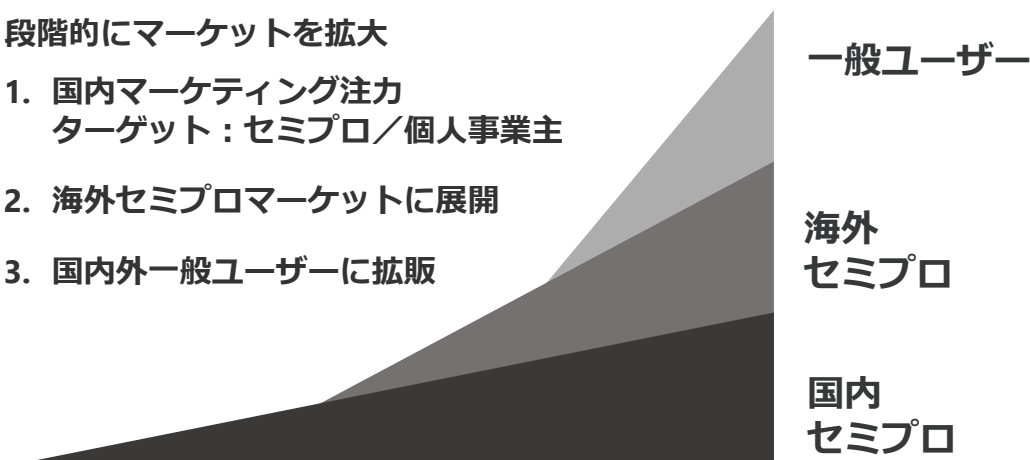
GLADIAS Cloud

通常、人が目で見て判断する映像・音声のクオリティを、AIが代わって検査するクラウドサービスです。AI (ディープラーニング) を使って、コンテンツの異常と思われる部分を見つけ出します。

販売拡大イメージ

□ 段階的にマーケットを拡大

1. 国内マーケティング注力
ターゲット：セミプロ/個人事業主
2. 海外セミプロマーケットに展開
3. 国内外一般ユーザーに拡販



2023年度



➤ 国内大手完成車メーカーとの取り組みはセカンドステージへ。

MTF Measurement Software
SFR-Fit

車載カメラ向け 解像度測定ソフトウェア

サプライチェーンを含めたビジネスモデル構築中

完成車メーカーと規格策定の取り組み実施

八合目に到達

販売拡大戦略

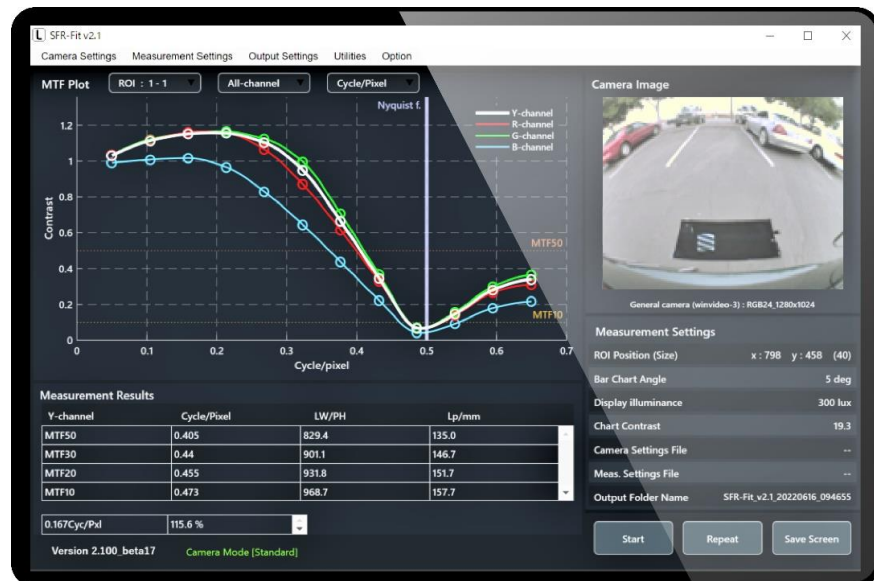
2023年度

日本国内におけるビジネスモデル（拡販体制）確立期

1. 日本国内完成車メーカーの横展開
2. 日本国内完成車メーカー向けサプライヤー（カメラメーカー等）への縦展開

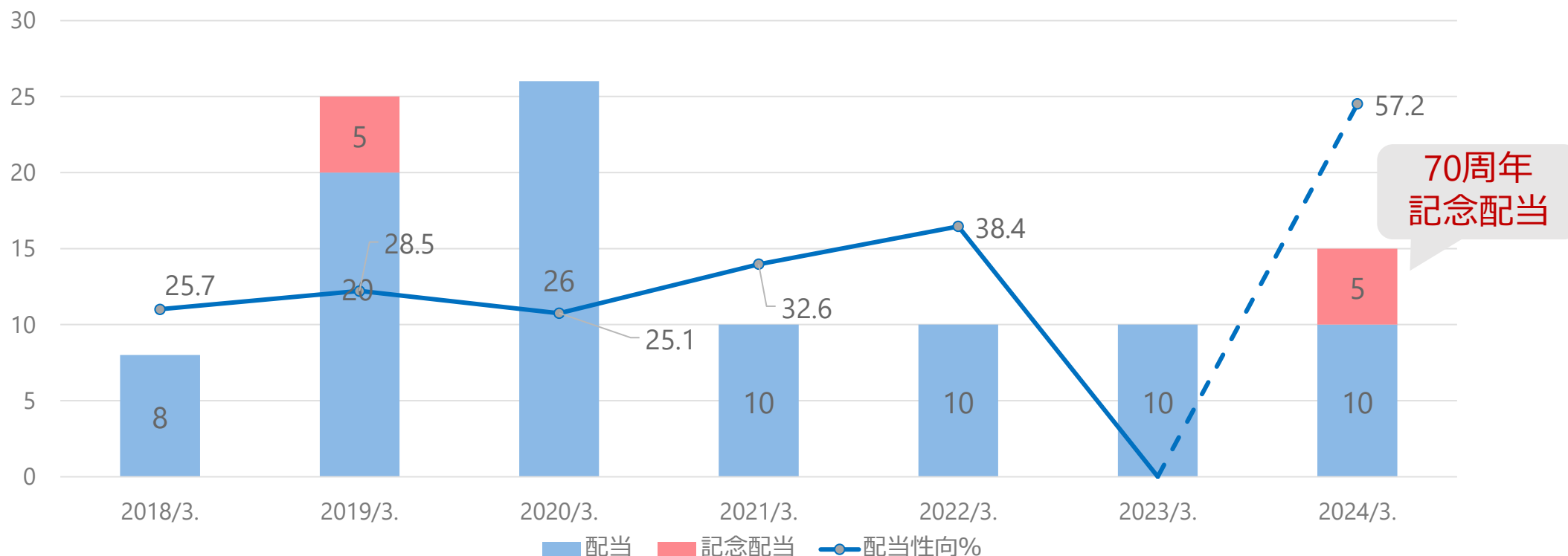
2024年度以降

- 海外自動車メーカー
- 自動車以外の産業に展開

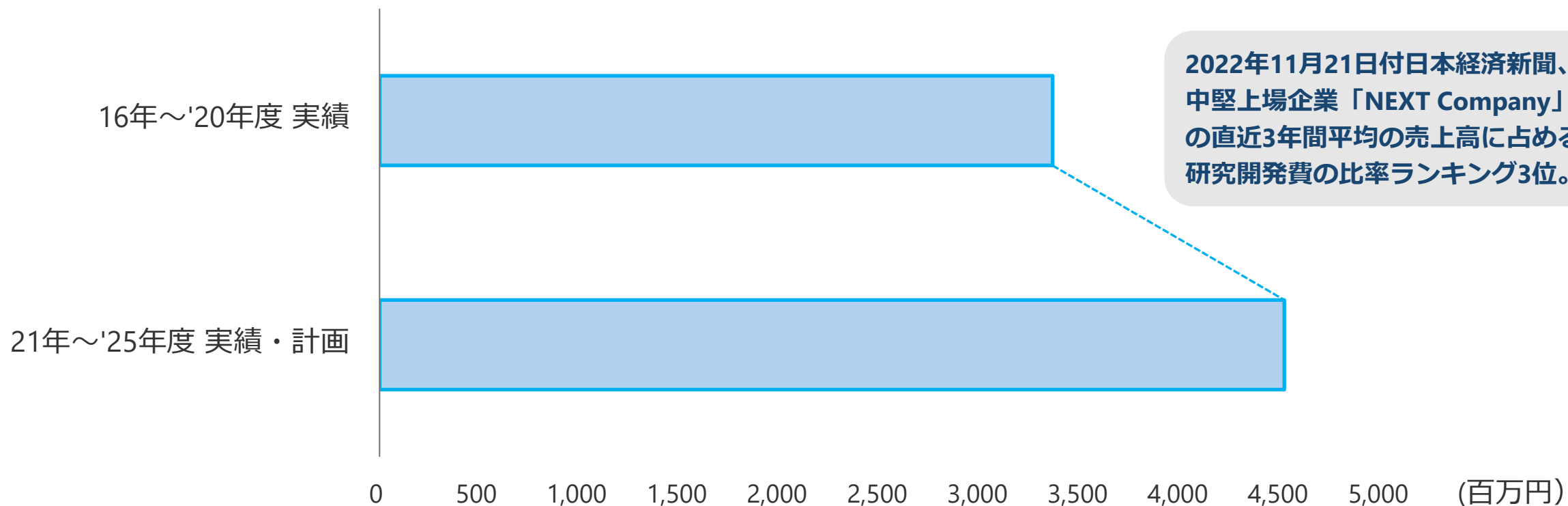


企業成長投資と株主還元のバランス重視。安定的な配当を継続。
70周年を記念し記念配当（5円）を実施。

(配当：円)



市場進化をけん引すべく、積極的にR&D投資を実施し続ける



2022年11月21日付日本経済新聞、中堅上場企業「NEXT Company」の直近3年間平均の売上高に占める研究開発費の比率ランキング3位。

当社技術者の活動を評価いただきました。
 今後とも社会のイノベーションに貢献する、高品質な製品、サービスを提供できるよう努めて参ります。

上級執行役員 菅原正幸
 ・一般財団 電波技術協会より第37回電波技術協会賞（2023年10月）の受賞。
 ・75th Engineering, Science & Technology Emmys Awards（2023年10月）にて主催者のTelevision AcademyよりCertificateを受領。